

Special Exhibition

Shikkosai and Nurudean

-Matsue's Flourishing Lacquerware



勝軍木庵光英作
「春草蒔絵菓子重」(当館蔵)

不昧が育んだ
美意識の継承

漆壺齋と

〔特別展〕

勝軍木庵

花開く松江の漆文化



勝軍木庵光英作「菊蒔絵壺」
(京都国立博物館蔵)



初代小島漆壺齋作「染写菊蒔絵香合」
(島根県立美術館蔵)



四代小島漆壺齋作「七宝花菱唐草蒔絵鯉茶器」
(京都国立博物館蔵)

2023. 10.20 | 金 | - 12.10 | 日 |

9:00-17:00 (観覧受付は16:30まで)

10.20(金)のみオープニング式典のため展示室は10時開場

休館日: 毎週月曜日 会場: 松江歴史館 企画展示室

観覧料: 大人 600円(480円) 小・中学生 300円(240円)

※ 基本展示室とのセット券の料金は大人 880円(700円)、小・中学生 440円(350円)

※ ()内は20名以上の団体料金

※ 高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金

主催/松江歴史館 後援/島根県茶道連盟、島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰



令和5年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業



日本語WEBサイト



英語WEBサイト



松江歴史館



松江歴史館HP

〔特別展〕

漆壺斎と

勝軍木庵

花開く松江の漆文化

Special Exhibition Shikkosai and Nurudean -Matsue's Flourishing Lacquerware

200 years ago here in Matsue there was a lacquer artisan that was loved by a feudal lord. Their names were Shikkosai Kojima and Mitsuhide Nurudean. Shikkosai's lacquerware was characterized by its beautiful coating. Among the kinds of lacquerware that he produced, he made a large number of tea utensils. Shikkosai's lacquer techniques have been passed down to each successive generation, the current practitioners belonging to the 7th and 8th generation. Mitsuhide's speciality was crafting extravagant ornaments and decorations that were adorned with lots of gold and silver. At this exhibit we will display the works of two separate families of lacquer artisans, through which we will showcase the splendor of Matsue's lacquerware.

松江市立 松江歴史館

〒690-0887 鳥根県松江市殿町279番地
TEL 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611
<https://www.matsu-reki.jp/>

Facebook、Instagram等
各種SNSで最新情報を配信中。



初代の小島漆壺斎(？-1830)

は、松江藩松平家7代藩主松平治郷(不昧)のお抱え塗師です。代々漆芸を家業とする漆壺斎の作品は、塗りと品格のある時絵に特徴があり、全国でも高く評価されています。中でも初代小島漆壺斎の手掛けた茶道具は、不昧の美意識を伝える品として各地で大切に伝えられています。

勝軍木庵光英(1802-71)は、松江藩松平家9代藩主松平斉貴に重用された時絵師でした。光英は、豪華な高時絵を得意とし、棗、香合、印籠、硯箱、文台など多くの作品を残しています。本展では、出雲の名工として名高い両者の作品を紹介し、松江藩の漆芸文化を振り返ります。

不昧が育んだ
美意識の継承



勝軍木庵光英作「菊時絵中次」
(鳥根県立美術館蔵)



初代小島漆壺斎作「菊時絵棗」
(当館蔵)



勝軍木庵光英作「久能山三保富士陸埴清見時絵印籠」
(当館蔵)



勝軍木庵光英作「時絵手箱」
(松江市指定文化財、松江神社蔵)



三代小島漆壺斎作
「一閑張菊桐時絵茶器」(当館蔵)

記念講演会

不昧に愛された時絵師 — 羊遊斎と漆壺斎

講師 小林 祐子氏(三井記念美術館学芸部 学芸課長)

会場 松江歴史館 歴史の指南所

日時 10月21日(土) 14時-15時30分 [無料・定員60名(先着順)・要申込]

※ 特別展観覧券または年間パスポートが必要です。

学芸員による展示解説

ギャラリートーク

会場 松江歴史館 企画展示室

日時 10/22(日)、11/3(金・祝)、

11/25(土)、12/6(水) 各日14時-15時

※ 特別展観覧券または年間パスポートが必要です。

関連講座(松江おもしろ談義)

漆器の鑑賞を楽しむ

講師 大多和 弥生(当館副主任学芸員)

会場 松江歴史館 歴史の指南所

日時 11月19日(日) 14時-15時

[無料・定員60名(先着順)・要申込]

交通アクセス

- ぐるっと松江レイクライン
JR松江駅より13分
「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」下車徒歩3分
- 一般路線バス
JR松江駅より9分、「県民会館前」下車徒歩5分
JR松江駅より15分、「塩見縄手」下車徒歩1分
- 自動車
●山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
●松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
●当館敷地内に身障者専用駐車場あり
- 飛行機
●出雲空港へ 東京(羽田)90分、大阪(伊丹)60分
福岡70分、名古屋(小牧)70分
静岡90分、仙台120分
●米子空港へ 東京(羽田)80分

※ 各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行しております。
出雲空港(35分)/米子空港(45分)

●最新の情報は松江歴史館のホームページにてご確認ください。